



2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月12日

上場会社名 フロイント産業株式会社
 コード番号 6312 URL <https://www.freund.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画本部長 (氏名) 若井 正雄
 四半期報告書提出予定日 2022年1月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	11,988	10.5	459	17.4	492	13.2	270	2.5
2021年2月期第3四半期	10,852	2.3	391	320.4	435	290.9	277	634.0

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 516百万円 (221.9%) 2021年2月期第3四半期 160百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	16.13	
2021年2月期第3四半期	16.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	21,728	14,040	64.6	838.51
2021年2月期	20,575	13,858	67.4	827.67

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 14,040百万円 2021年2月期 13,858百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間において、Cos.Mec S.r.l.との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		20.00	20.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	10.3	1,100	1.0	1,130	13.6	790	18.6	47.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ(3)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期3Q	18,400,000 株	2021年2月期	18,400,000 株
2022年2月期3Q	1,655,480 株	2021年2月期	1,655,480 株
2022年2月期3Q	16,744,520 株	2021年2月期3Q	16,744,520 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11
3. その他	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株の拡大による2021年初以降の断続的な緊急事態宣言の影響で、個人消費を中心に下振れ圧力が強い展開が続きました。その後、ワクチン効果、ウィズコロナ対策が定着する中、各種制限措置は段階的に緩和され、景気は回復基調に転じましたが、新しい変異株確認に加え、半導体や部材不足の混乱等もあり、依然予断を許さない状況にあります。

世界経済については、先進国を中心にワクチン普及に伴う行動制限緩和により景気回復が進展してきましたが、一部の地域では感染再拡大の動きが見られる他、物流やサプライチェーンの混乱が顕在化するなど、不透明感は払拭されない状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、研究開発コストの増大に加え、これまで2年に1度だった薬価改定が毎年実施されるなどの医療費抑制策の強化への対応を迫られています。また、ジェネリック医薬品市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されている中、昨今のジェネリック医薬品における品質や安定供給に関する問題により、体制整備が求められています。

このような事業環境のもと、当社グループは、第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)をスタートし、お客様、新製品、グローバル、成長などをキーワードに新しく以下の7つの経営目標を掲げました。

- ①グループ連携
- ②完全顧客視点
- ③イノベーション重視
- ④グローバル経営
- ⑤成長戦略の実行
- ⑥業務改革と働き方改革の推進
- ⑦コンプライアンス／コーポレートガバナンスの重視

この経営目標を達成することにより、個別の市場環境に影響されにくい経営体制の構築を図り、当期は、連結売上高185億円、連結営業利益11億円の達成を目指して、グループ一丸となって活動しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は119億88百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は4億59百万円(同17.4%増)、経常利益は4億92百万円(同13.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億70百万円(同2.5%減)となりました。

前年同期は、米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATIONにおいて、米国政府によるコロナ対策補助金約2億円により営業利益以下の各利益が増加しましたが、当第3四半期連結累計期間はその特殊要因が無い中での前年同期比営業利益・経常利益増益を達成しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、一部に出荷の遅れがありましたが、米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATION、本邦子会社フロイント・ターボ株式会社がいずれも前年同期比増収を実現したほか、イタリア子会社Cos. Mec S. r. l. の連結子会社化もあり、売上高は増加となりました。一方、前年同期にあった米国子会社の補助金収入は今期にはないため、営業利益は減少となりました。

この結果、売上高は77億40百万円(同19.6%増)、セグメント利益は2億62百万円(同26.4%減)となりました。

・化成品部門

医薬品添加剤は、ジェネリック医薬品業界での品質や安定供給の問題による影響がありましたが、売上高は前年同期比増収を確保し、また、原価低減を進めた結果、営業利益は増加となりました。

食品品質保持剤は、昨年引き続きコロナ禍によるデパート・テーマパークでのお菓子の売上が低迷する影響を受けておりますが、スーパー・コンビニでのお菓子の売上は好転したこと等により、売上高、営業利益ともに増加となりました。

一方、健康食品は、大口ユーザーからの受託終了の影響により、売上高は大幅減少となりましたが、営業利益は微減となりました。

この結果、売上高は42億48百万円(同3.0%減)、セグメント利益は6億2百万円(同48.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億53百万円増加し、217億28百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形及び売掛金が8億74百万円減少したものの、仕掛品が15億38百万円、原材料及び貯蔵品が3億48百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億72百万円増加し、76億88百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が2億12百万円、未払法人税等が1億51百万円、賞与引当金が1億35百万円減少したものの、前受金が17億7百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億81百万円増加し、140億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2021年4月13日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,498,482	4,606,053
受取手形及び売掛金	4,659,895	3,785,264
電子記録債権	210,221	436,560
有価証券	212,500	—
商品及び製品	798,624	764,271
仕掛品	1,457,682	2,996,171
原材料及び貯蔵品	1,217,155	1,565,458
前払費用	151,597	171,875
その他	362,421	338,720
貸倒引当金	△10,342	△11,433
流動資産合計	13,558,237	14,652,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,015,990	1,997,915
土地	1,159,307	1,141,346
その他（純額）	1,559,328	1,474,582
有形固定資産合計	4,734,626	4,613,844
無形固定資産		
のれん	658,901	658,324
ソフトウェア	24,138	34,337
ソフトウェア仮勘定	—	211,164
顧客関連資産	533,084	478,750
その他	75,659	67,365
無形固定資産合計	1,291,783	1,449,942
投資その他の資産		
繰延税金資産	187,885	218,023
その他	808,102	799,362
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	990,588	1,011,985
固定資産合計	7,016,998	7,075,772
資産合計	20,575,235	21,728,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,454	1,736,266
電子記録債務	1,212,083	999,449
短期借入金	55,793	11,574
未払法人税等	245,299	93,934
前受金	1,170,091	2,877,283
賞与引当金	258,586	122,644
役員賞与引当金	43,156	23,408
その他	1,077,963	964,392
流動負債合計	5,817,429	6,828,953
固定負債		
リース債務	394,370	376,162
退職給付に係る負債	280,598	287,041
資産除去債務	46,472	46,558
役員退職慰労引当金	23,697	5,421
その他	153,681	144,165
固定負債合計	898,820	859,349
負債合計	6,716,249	7,688,303

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	12,600,004	12,535,263
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	14,151,755	14,087,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,149	31,118
為替換算調整勘定	△330,648	△95,494
退職給付に係る調整累計額	15,729	17,773
その他の包括利益累計額合計	△292,769	△46,601
純資産合計	13,858,986	14,040,412
負債純資産合計	20,575,235	21,728,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	10,852,320	11,988,176
売上原価	7,323,081	7,765,334
売上総利益	3,529,238	4,222,841
販売費及び一般管理費	3,138,004	3,763,605
営業利益	391,234	459,235
営業外収益		
受取利息	308	2,532
受取配当金	5,615	5,655
受取技術料	6,089	9,344
受取補償金	3,183	-
受取保険金	21,809	-
為替差益	-	9,891
その他	14,232	14,215
営業外収益合計	51,238	41,639
営業外費用		
支払利息	359	6,652
為替差損	4,479	-
その他	2,190	1,399
営業外費用合計	7,029	8,052
経常利益	435,443	492,823
特別利益		
固定資産売却益	4,213	1,953
投資有価証券売却益	-	1,298
特別利益合計	4,213	3,251
特別損失		
減損損失	-	49,685
固定資産売却損	7,546	795
固定資産除却損	12,472	4,557
特別損失合計	20,019	55,039
税金等調整前四半期純利益	419,637	441,035
法人税等	142,564	170,887
四半期純利益	277,072	270,148
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,072	270,148

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	277,072	270,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,619	8,968
為替換算調整勘定	△118,515	235,154
退職給付に係る調整額	△785	2,043
その他の包括利益合計	△116,682	246,167
四半期包括利益	160,390	516,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,390	516,316

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,472,383	4,379,937	10,852,320	—	10,852,320
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,472,383	4,379,937	10,852,320	—	10,852,320
セグメント利益	357,397	404,946	762,344	△371,110	391,234

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△371,110千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2020年11月5日に行われたCos.Mec S.r.l.との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は、暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、機械部門セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
8,454,746	789,429	191,561	363,566	913,203	139,812	10,852,320

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,740,139	4,248,036	11,988,176	—	11,988,176
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,740,139	4,248,036	11,988,176	—	11,988,176
セグメント利益	262,994	602,269	865,263	△406,027	459,235

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△406,027千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2020年11月5日に行われたCos.Mec S.r.l.との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は、暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、機械部門セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

化成品部門セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった建設仮勘定の減損損失49,685千円を計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位:千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
8,549,907	990,666	535,763	667,101	995,099	249,638	11,988,176

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東等

なお、当第1四半期連結会計期間より、管理区分の見直しに伴い、従来の「その他」を「アジア」および「その他」に分割しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の「3. 地域に関する情報売上高」の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間において、「その他」に表示していた1,053,015千円は、「アジア」913,203千円、「その他」139,812千円として組み替えております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2020年11月5日に行われたCos. Mec S. r. lとの企業結合について、前連結会計年度末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しています。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分額に重要な見直しを反映しており、当該見直しの内容は次のとおりです。

なお、見直し前ののれんの金額には、第1四半期連結会計期間において計上した条件付取得対価の確定に伴う追加の支払いによる修正を含めております。

配分額の見直しの内容

のれん（修正前）	1,131,631 千円
無形固定資産（顧客関連資産）	△568,698
繰延税金負債	136,487
修正金額合計	△432,210
のれん（修正後）	699,420

のれんの償却方法及び償却期間 10年間にわたる均等償却

のれん以外の無形固定資産の全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

無形固定資産（顧客関連資産）	15年
無形固定資産（受注残高）	0.5年
合計	13年

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	9,084,141	126.0	10,612,323	116.8

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	7,389,756	123.3	9,626,868	130.3

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	6,472,383	59.6	7,740,139	64.6
化成品部門	4,379,937	40.4	4,248,036	35.4
合計	10,852,320	100.0	11,988,176	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。